

石川工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	地理
科目基礎情報					
科目番号	15350		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気工学科		対象学年	2	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	教科書: 『新詳地理B』 帝国書院, 『新詳高等地図』 帝国書院			教材等: 『図説地理資料 世界の諸地域NOW 2018』 帝国書院	
担当教員	鶴田 星子				
到達目標					
1. 地形環境と人間生活の関連を理解して、説明できる。 2. 世界各地域の資源・エネルギー問題について理解して、説明できる。 3. 気候環境と地形、職制、産業の関わりを理解して、説明できる。 4. 工業地域の立地条件と社会環境の関わりを理解して、説明できる。 5. 様々な宗教問題、民族問題について理解して、説明できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	地形環境と人間生活の関連を正しく理解して、説明できる。	地形環境と人間生活の関連を理解して、説明できる。	地形環境と人間生活の関連を説明できない。		
評価項目2	世界各地域の資源・エネルギー問題について正しく理解して、説明できる。	世界各地域の資源・エネルギー問題について理解して、説明できる。	世界各地域の資源・エネルギー問題について説明できない。		
評価項目3	気候環境と地形、職制、産業の関わりを正しく理解して、説明できる。	気候環境と地形、職制、産業の関わりを理解して、説明できる。	気候環境と地形、職制、産業の関わりを説明できない。		
評価項目4	工業地域の立地条件と社会環境の関わりを正しく理解して、説明できる。	工業地域の立地条件と社会環境の関わりを理解して、説明できる。	工業地域の立地条件と社会環境の関わりを説明できない。		
評価項目5	様々な宗教問題、民族問題について正しく理解して、説明できる。	様々な宗教問題、民族問題について理解して、説明できる。	様々な宗教問題、民族問題について説明できない。		
学科の到達目標項目との関係					
本科学習目標 1 本科学習目標 3					
教育方法等					
概要	世界各地域の自然、産業、社会を学ぶことによって、技術者として必要な基礎学力と専門的知識を身につける。そして世界の文化の多様性や、現代的な問題について考察することで、幅広い視点から自らの立場を理解し、社会や環境に配慮できるようになる。				
授業の進め方・方法	事前事後学習など: 長期休暇中などに適宜課題を出す。 関連科目: 歴史Ⅰ, 現代社会, 倫理				
注意点	単に地名やことばを覚えるのではなく、地図帳や資料集を眺め、またインターネットを活用するなどして、頭の中にそれらの土地や現象のイメージを描けるように努めること。 (評価方法) 中間試験、期末試験を実施する。 中間試験 (40%)、期末試験 (40%)、課題提出 (20%) で成績を算出する。 成績の評価基準として50点以上を合格とする。				
テスト					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	イントロダクション/世界の気候	温帯および熱帯の気候について説明できる	
		2週	アメリカ1: その歴史と様々な民族	アメリカの歴史と民族について説明できる	
		3週	アメリカ2: 農業と工業	アメリカの農業と工業について説明できる	
		4週	東アジア1: 中国の農業と食文化	中国の農業と食文化について説明できる	
		5週	東アジア2: 中国の工業化と経済発展	中国の工業化と経済発展について説明できる	
		6週	東アジア3: 中国の民族問題/韓国の文化	中国の民族問題/韓国の文化について説明できる	
		7週	オーストラリア: 多民族国家社会・日本との関わり	オーストラリアの多民族国家社会・日本との関わりについて説明できる	
		8週	復習		
	4thQ	9週	東南アジア: 農業・工業および近年の経済発展	東南アジアの農業・工業および近年の経済発展について説明できる	
		10週	南アジア: インド社会の特質と工業の発展	インド社会の特質と工業の発展について説明できる	
		11週	西アジア1: イスラーム社会	西アジアのイスラーム社会について説明できる	
		12週	西アジア2: 石油産業と民族問題	西アジアの石油産業と民族問題について説明できる	
		13週	ヨーロッパ1: EUの発展	EUの発展について説明できる	
		14週	ヨーロッパ2: 工業と農業/変わりゆくEU	工業と農業/変わりゆくEUについて説明できる	
		15週	復習		
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	学制的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	3	
			公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	3	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0